

編集後記

社会保障研究所が創立以来の所在地である霞が関をはなれて、赤坂に移転してから半年を経過いたしました。当初は、整然としたオフィス街から雑然とした町中にとびこんだような気分だとまどいを感じたりもしましたが、次第に界限のざわめきにも慣れ、昨今では逆にそうした日常生活のリズムが身近に感じられる環境のほうがおちつけるようになってきました。それはまた、社会保障研究において、日常生活レベルでの問題意識を常にもちつづけることの重要性をあらためて思いおこさせてくれる契機ともなりました。

さて、本誌が創刊 20 号をかぞえ、また、当研究所が創立 20 周年を間もなく迎えるにあたって、本号ではその記念としての小特集を〈社会保障研究の将来的課題〉というテーマで企画いたしました。法律学・制度論・経済学・社会学の各分野からみた社会保障研究の動向が、それぞれの論文のなかで明らかにされております。なお次号(20 巻 4 号)には本誌掲載論文総目次が、更に次々号(21 巻 1 号)では第 19 回社会保障研究所シンポジウム「社会保障研究の回顧と展望」が掲載される予定になっております。これらを合わせ御覧いただくことにより、社会保障研究の過去・現在・未来にわたる全体像を俯瞰するてだてがえられることかとおもいます。

本誌が、日本における社会保障研究のフロンティアをめざして、さらなる地歩を占めるためにも、皆様の一層の御指導と御協力をお願い申し上げます。
(宇野)

編集委員長	福 武 直 (社会保障研究所長)		
編集委員	青 井 和 夫 (津田塾大学教授)	地 主 重 美 (千葉大学教授)	
	飯 野 靖 四 (慶応義塾大学教授)	都 村 敦 子 (社会保障研究所研究部長)	
	小 沼 正 (駒沢大学教授)	保 坂 哲 哉 (金沢大学教授)	
	小 林 良 二 (東京都立大学助教授)	三 浦 文 夫 (日本社会事業大学教授)	
	小 山 路 男 (上智大学教授)	安 川 正 彬 (慶応義塾大学教授)	
編集幹事	宇 野 正 道 (社会保障研究所研究員)	平 岡 公 一 (社会保障研究所研究員)	
	城 戸 喜 子 (社会保障研究所主任研究員)		(五十音順)

季刊
社会保障研究 Vol. 20, No. 3, Winter 1984

(通巻 86 号)

昭和 59 年 12 月 25 日 発 行

編集・発行所

社 会 保 障 研 究 所
〒107 東京都港区赤坂2丁目19番8号
赤坂2丁目アネックスビル内
電話 (589) 1 3 8 1

製 作

財団法人 東 京 大 学 出 版 会
〒113 東京都文京区本郷 7 丁目 3 番地の 1
電話 (811) 8 8 1 4